

令和7年度学校教育目標
「わたし」らしくあゆむ子

三川小学校 HP QRコード

HPアドレス <https://mitsukawa-e.fukuroi.ed.jp/>

PTA 活動の様子も HP で紹介しています。



周南たちばな学園 袋井市立三川小学校 学校だより

令和7年 8月28日 発行

三川っ子だより

No.6

「わたし」らしくあゆむ子をめざして

本日から2学期が始まりました。子供たちの元気な声が学校全体に響き渡り、活気ある三川小学校が戻ってきました。

さて、4月に全国の小学校6年生を対象にした「全国学力・学習状況調査」が実施され、7月末にその結果が公表されました。（※本校の結果については、袋井市の傾向と合わせて、後日お伝えします）その調査に「困りごとや不安がある時に、大人に相談できる」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになる」という質問があります。それらの本校の回答が、全国平均に比べてとても高い結果にありました。日頃、学校の教育活動に地域や保護者の方が関わってくださっていることが、子供たちの困り感や不安の解消につながっており、普段の生活の中で幸福感も感じていることがわかります。

本校の学校教育目標『「わたし」らしくあゆむ子』は、「わたし」らしさを大切にするとともに、周りも大切にできる子であってほしいという願いも込められています。ミシンボランティアや読み聞かせ、生活科校外学習の見守り、草刈りなど、教育活動への御協力をいただいている姿が日常的に見られること、学校に対し保護者の方や地域の方の力添えをいただいていることが、三川小学校の子供たちの心を豊かに育んでいます。

2学期は、9月に資源回収・奉仕作業、周南たちばな学園学校公開、10月に運動会などの全校に関わる行事、その他にも社会見学や修学旅行、観音山自然教室など学年ごとの行事が予定されています。学級や学年を超えて、自他ともに大切にし、「わたし」らしくあゆむ2学期となるように、教職員一丸となって一人一人を支えていきたいと思います。2学期も引き続きよろしくお願いいたします。

掲示板

【防災訓練の参加について】

8月31日（日）に袋井市総合防災訓練が行われます。震度6以上の地震が発生したことを想定し、児童の安否確認ならびにお住いの地区の被害状況等について報告するメールをコドモンで配信します。午前9時頃に配信予定ですので、回答いただくようお願いします。

また、8月31日（日）午前9時から各自治会における訓練が行われます。小学生も地域住民の一員として、避難所設営や、物品の搬出・確認作業の手伝いができると思います。是非、親子で参加し、防災について考える一日にしていきたいと思います。

【PTA資源回収・奉仕作業について】

9月6日（土）に第2回PTA資源回収・奉仕作業が行われます。資源回収は、役員の負担を軽減するため、運搬される方にも学校での積み下ろしに御協力いただいております。また、奉仕作業は、夏休み中に伸びた雑草の処理など、子供たちが2学期も元気に学校生活を送ることができるよう、環境整備に御協力ください。よろしくお願いいたします。

詳細は別紙にて御確認ください。

<2学期始業式 式辞>

2学期が始まりました。今年の夏休みは猛暑が続き、全国では、大雨や熊による被害、水の事故のニュースも多かったですね。そのような中、こうして、無事に2学期の始業式ができることを、とてもうれしく思います。さて、1学期の終業式で、夏休みには、『ミャクミャク』のように、いろいろな人・もの・こと・地域と触れ合って、なりたい自分を探してみましょう。」とお話しました。皆さんは、どんな人・もの・こと・地域とふれあうことができましたか。「夏休み学習室」や「子ども防災教室」に参加して、地域や自衛隊の方とふれあい、学びを深めた人たちもいましたね。

私は、夏休みにテレビを観ていて、なりたい自分に向かって、「わたしらしくあゆんでいる」すてきな人を見つけました。それは、県立岐阜商業高等学校野球部の横山温大選手です。横山選手は、生まれた時から左手の指がありません。でも、小さな頃から野球が大好きで、小学3年生の時に野球を始めました。当時は、左手に義手を付け、その上にグラブをはめてプレーしていました。しかし、5年生になると、義手を使うことを断念しました。感覚のない義手を使うと、捕球などで難度が増し、中学や高校では通用しなくなってしまうと考えたからです。

そこで、横山選手は、野球を続けるために新しい方法を考えました。腕に障害がある大リーグのジム・アボット投手をヒントにし、いかにして素早くグラブを付け替えてボールを投げるか、ひたすら試行錯誤を続けました。右手に付けたグラブでボールをキャッチしたあと、瞬時にグラブを左脇に抱え、右手でボールを握って投げる。他にもいろいろな形を試して、最も速い方法を探りました。キャッチしてからボールを握るまで1秒間を基準に特訓し、今のような素早い動きができるようになりました。これには、およそ1年間かかったそうです。

横山選手が取り組んだことが、もう1つあります。バッティングです。左打席に入って右手でバットを握ります。そうすると両手でバットを振ることができず、ボールをあまり強く打てませんでした。そのため、右腕を徹底的に強化しました。重さ25kgのダンベルなどで鍛え上げた結果、右腕は左腕よりひと回りも大きくなりました。スイングスピードも、1年足らずで10km以上増しました。

こうして横山選手は、常に大好きな野球をいかにみんなと変わらずできるか自分で考え、練習方法を工夫し、困難を努力で乗り越えてきました。たゆまぬ努力の結果、この夏はレギュラーを示す背番号「9」をもらいました。甲子園では、準々決勝までの4試合すべてで安打を放つ大活躍をし、チームもベスト4という成績を収めました。横山選手は、インタビューで次のように話していました。「甲子園は観客も多くて注目される大きな舞台で憧れ。ここで活躍して、自分と同じような境遇の子供たちにも、やればできるんだと教えてあげたいです。」と。

皆さんも、これまで、ありのままの自分・ありのままのあなたを大切にし、本当によく頑張ってきました。そのことを土台にして、2学期は、なりたい自分やよりよい学校に向かって、何をしたらよいか、何ができるかを自分で考え、考えたことを実行していきましょう。横山選手の話をもとに、自分から「気づき 考え 実行」し、わたしらしくあゆんでいきましょう。